

## Cisco Aironet 1810w シリーズ アクセス ポイント

洗練されたデザインとスモール フォーム ファクタを特長とする Cisco Aironet 1810W シリーズ アクセス ポイントは、シスコの高性能な機能を豊富に搭載しており、集合住宅への設置に最適です。

### 製品概要



Cisco® Aironet® 1810W シリーズ アクセス ポイントは、コンパクトな壁面設置対応アクセス ポイントで、宿泊施設、クルーズ船、寮などの集合住宅への設置に最適です。Aironet 1810W シリーズは、洗練されたデザインのデバイスの中に有線のギガビット イーサネットと 802.11ac Wave 2 ワイヤレス接続が組み込まれており、既存の配線インフラストラクチャも活用できます。この組み合わせにより、エンド ユーザを犠牲にすることなく、総所有コストを削減できます。

### 機能と利点

802.11ac Wave 2 により、1810W シリーズは 5 GHz 無線で最大 867 Mbps のデータ レートを提供します。これは、今日のハイエンド 802.11n アクセス ポイントのデータ レートを超えています。また、配線インフラストラクチャに新たなコストをかけることなく、有線デバイスもネットワークに接続できます。

1810W シリーズは、非常に安全で信頼性の高い有線、およびワイヤレス接続によって業界トップクラスの性能を実現し、堅牢なモビリティ エクスペリエンスを提供します。表 1 に、これらアクセス ポイントの機能と利点を示します。

表 1. 機能と利点

機能	利点
<b>MU-MIMO</b>	マルチユーザ (MU) multiple-input multiple-output (MU-MIMO) により、複数の 802.11ac Wave 2 対応クライアントにデータを同時に送信できるため、クライアント エクスペリエンスが向上します。MU-MIMO 以前は、802.11n および 802.11ac Wave 1 アクセス ポイントは一度に 1 つのクライアントにしかデータを送信できず、一般にシングルユーザ MIMO と呼ばれていました。 2 X 2 の MIMO 技術を備えた 802.11ac Wave 2 では、シングルユーザ MIMO モードまたはマルチユーザ MIMO モードでの動作時に 2 つの空間ストリームを提供し、867 Mbps レートによって競合他社のアクセス ポイントよりも多くの容量と高い信頼性を実現しています。
<b>ギガビット イーサネット ポート</b>	ローカル用のギガビット イーサネット ポートを 3 つ備え、有線デバイスをネットワークに安全に接続できます。有線デバイスからのトラフィックをトンネリングでワイヤレス LAN コントローラに戻せるほか (互換性のあるコントローラの場合)、アクセス ポイントでローカルに切り替えることができます。これらのイーサネット ポートの 1 つは、IP 電話やセキュリティ カメラなどのデバイスに電力を供給する Power over Ethernet (PoE) 出力にもなります。
<b>一体型 Bluetooth 4.1</b>	ロケーションやアセットのトラッキング用に Bluetooth low-energy (BLE) 4.1 無線が組み込まれています (提供予定)。
<b>複数の設置方法とセキュリティ オプション</b>	複数の方法で標準的な接続ボックスに設置できます。縦向きにして壁に直接取り付けられるほか、オプションの洗練されたデザインのデスク用クレードルを使用してデスクにも設置できます。盗難防止用としてトルクス ネジが付属しています。また、オプションの Kensington ロックも利用できます。どこにアクセス ポイントを設置しても盗まれることはありません。

これらすべての機能により、ワイヤレス ネットワークで可能なエンドユーザ エクスペリエンスを保証します。

## 優れた特長/他製品との違い/機能

Aironet 1810W シリーズ アクセス ポイントは、高いパフォーマンス、優れたアクセス、高密度ネットワークを実現する最新の 802.11ac Wave 2 標準規格をサポートしています。802.11ac Wave 2 MU-MIMO によりデュアル無線とデュアルバンドを同時にサポートできるこのアクセス ポイントを使用すれば、まもなくネットワークの主流となる高帯域幅デバイスの増加に対応できます。

1810W シリーズは、Power over Ethernet (PoE) による有線アクセスが可能です。この機能により、IP 電話、セキュリティカメラ、プリンタ、コピー機などのデバイスに PoE 出力を使用して有線アクセスを提供できます。このアクセス ポイントには標準 PoE に加えて AC アダプタで電力を供給できます。1810W シリーズには、ローカル用のギガビット イーサネット ポートが 3 つ、アップリンク ギガビット イーサネット ポートが 1 つ、パッシブ パススルー RJ-45 ポート が 1 つ装備されているため、さまざまな接続方法を利用できます。

スモール フォーム ファクタを特長とする洗練されたデザインは、さまざまな設置方法に対応できるように設計されています。壁に直接設置することも、壁面の接合部分のさまざまな国際規格に取り付けることも、デスクに設置することもでき、設置も簡単です。

## 製品仕様

表 2 に、Cisco Aironet 1810W シリーズ アクセス ポイントの仕様を示します。

表 2. 仕様

項目	仕様														
認証とセキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>Wi-Fi Protected Access 2 (WPA2) に Advanced Encryption Standard (AES)</li> <li>802.1X、RADIUS 認証、許可、およびアカウントリング (AAA)</li> <li>802.11i</li> </ul>														
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>Cisco Unified Wireless Network ソフトウェア、AireOS ワイヤレス コントローラ リリース 8.2.111.0 以降</li> </ul>														
クライアントの最大数	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連付けるワイヤレス クライアントの最大数: Wi-Fi 無線ごとに 200、合計でアクセス ポイントごとに 400 クライアント</li> </ul>														
802.11ac	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 X 2 シングルユーザ/マルチユーザ MIMO、2 つの空間ストリーム</li> <li>最大比合成 (MRC)</li> <li>20、40、80 MHz チャンネル</li> <li>最大 866.7 Mbps の PHY データレート (5 GHz で 80 MHz)</li> <li>パケット集約: A-MPDU (Tx/Rx)、A-MSDU (Rx)</li> <li>802.11 Dynamic Frequency Selection (DFS)</li> <li>Cyclic Shift Diversity (CSD) サポート</li> </ul>														
イーサネット ポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>802.1X または MAC フィルタリングによる認証</li> <li>ダイナミック VLAN またはポートごと</li> <li>トラフィックをワイヤレス LAN コントローラにローカルで切り替える、またはトンネリングで戻す</li> </ul>														
Bluetooth (提供予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>一体型 Bluetooth 4.1 (BLE を含む) 無線</li> <li>最大送信電力: 5 dBm</li> <li>アンテナ ゲイン: 2 dBi</li> </ul>														
対応データレート	<p>802.11a: 6、9、12、18、24、36、48、54 Mbps</p> <p>802.11b/g: 1、2、5.5、6、9、11、12、18、24、36、48、54 Mbps</p> <p>802.11n データ レート (2.4 GHz):</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">MCS 指数<sup>1</sup></th> <th>GI<sup>2</sup> = 800 ns</th> <th>GI = 400 ns</th> </tr> <tr> <th>20 MHz のレート (Mbps)</th> <th>20 MHz のレート (Mbps)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>6.5</td> <td>7.2</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>13</td> <td>14.4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>19.5</td> <td>21.7</td> </tr> </tbody> </table>	MCS 指数 <sup>1</sup>	GI <sup>2</sup> = 800 ns	GI = 400 ns	20 MHz のレート (Mbps)	20 MHz のレート (Mbps)	0	6.5	7.2	1	13	14.4	2	19.5	21.7
MCS 指数 <sup>1</sup>	GI <sup>2</sup> = 800 ns		GI = 400 ns												
	20 MHz のレート (Mbps)	20 MHz のレート (Mbps)													
0	6.5	7.2													
1	13	14.4													
2	19.5	21.7													

項目		仕様					
	3	26			28.9		
	4	39			43.3		
	5	52			57.8		
	6	58.5			65		
	7	65			72.2		
	8	13			14.4		
	9	26			28.9		
	10	39			43.3		
	11	52			57.8		
	12	78			86.7		
	13	104			115.6		
	14	117			130		
	15	130			144.4		
<b>802.11ac データレート(5 GHz) :</b>							
MCS インデックス	空間ストリーム	GI = 800 ns			GI = 400 ns		
		20 MHz のレート (Mbps)	40 MHz のレート (Mbps)	80 MHz のレート (Mbps)	20 MHz のレート (Mbps)	40 MHz のレート (Mbps)	80 MHz のレート (Mbps)
0	1	6.5	13.5	29.3	7.2	15	32.5
1	1	13	27	58.5	14.4	30	65
2	1	19.5	40.5	87.8	21.7	45	97.5
3	1	26	54	117	28.9	60	130
4	1	39	81	175.5	43.3	90	195
5	1	52	108	234	57.8	120	260
6	1	58.5	121.5	263.3	65	135	292.5
7	1	65	135	292.5	72.2	150	325
8	1	78	162	351	86.7	180	390
9	1	–	180	390	–	200	433.3
0	2	13	27	58.5	14.4	30	65
1	2	26	54	117	28.9	60	130
2	2	39	81	175.5	43.3	90	195
3	2	52	108	234	57.8	120	260
4	2	78	162	351	86.7	180	390
5	2	104	216	468	115.6	240	520
6	2	117	243	526.5	130	270	585
7	2	130	270	585	144.4	300	650
8	2	156	324	702	173.3	360	780
9	2	–	360	780	–	400	866.7

項目	仕様		
非オーバーラップチャンネルの最大数	<p><b>A(A 規制ドメイン):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.412 ~ 2.462 GHz, 11 チャンネル</li> <li>5.180 ~ 5.320 GHz, 8 チャンネル</li> <li>5.500 ~ 5.700 GHz, 8 チャンネル (5.600 ~ 5.640 GHz を除く)</li> <li>5.745 ~ 5.825 GHz, 5 チャンネル</li> </ul> <p><b>B(B 規制ドメイン):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.412 ~ 2.462 GHz, 11 チャンネル</li> <li>5.180 ~ 5.320 GHz, 8 チャンネル</li> <li>5.500 ~ 5.720 GHz, 12 チャンネル</li> <li>5.745 ~ 5.825 GHz, 5 チャンネル</li> </ul> <p><b>C(C 規制ドメイン):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.412 ~ 2.472 GHz, 13 チャンネル</li> <li>5.745 ~ 5.825 GHz, 5 チャンネル</li> </ul> <p><b>D(D 規制ドメイン):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.412 ~ 2.462 GHz, 11 チャンネル</li> <li>5.180 ~ 5.320 GHz, 8 チャンネル</li> <li>5.745 ~ 5.825 GHz, 5 チャンネル</li> </ul> <p><b>E(E 規制ドメイン):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.412 ~ 2.472 GHz, 13 チャンネル</li> <li>5.180 ~ 5.320 GHz, 8 チャンネル</li> <li>5.500 ~ 5.700 GHz, 8 チャンネル (5.600 ~ 5.640 GHz を除く)</li> </ul> <p><b>F(F 規制ドメイン):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.412 ~ 2.472 GHz, 13 チャンネル</li> <li>5.745 ~ 5.805 GHz, 4 チャンネル</li> </ul> <p><b>G(G 規制ドメイン):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.412 ~ 2.472 GHz, 13 チャンネル</li> <li>5.745 ~ 5.825 GHz, 5 チャンネル</li> </ul> <p><b>H(H 規制ドメイン):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.412 ~ 2.472 GHz, 13 チャンネル</li> <li>5.150 ~ 5.350 GHz, 8 チャンネル</li> <li>5.745 ~ 5.825 GHz, 5 チャンネル</li> </ul> <p><b>I(I 規制ドメイン):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.412 ~ 2.472 GHz, 13 チャンネル</li> <li>5.180 ~ 5.320 GHz, 8 チャンネル</li> </ul> <p><b>K(K 規制ドメイン):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.412 ~ 2.472 GHz, 13 チャンネル</li> <li>5.180 ~ 5.320 GHz, 8 チャンネル</li> <li>5.500 ~ 5.620 GHz, 7 チャンネル</li> <li>5.745 ~ 5.805 GHz, 4 チャンネル</li> </ul> <p><b>N(N 規制ドメイン):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.412 ~ 2.462 GHz, 11 チャンネル</li> <li>5.180 ~ 5.320 GHz, 8 チャンネル</li> <li>5.745 ~ 5.825 GHz, 5 チャンネル</li> </ul> <p><b>Q(Q 規制ドメイン):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.412 ~ 2.472 GHz, 13 チャンネル</li> <li>5.180 ~ 5.320 GHz, 8 チャンネル</li> <li>5.745 ~ 5.825 GHz, 5 チャンネル</li> </ul> <p><b>R(R 規制ドメイン):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.412 ~ 2.472 GHz, 13 チャンネル</li> <li>5.180 ~ 5.320 GHz, 8 チャンネル</li> <li>5.660 ~ 5.805 GHz, 7 チャンネル</li> </ul> <p><b>S(S 規制ドメイン):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.412 ~ 2.472 GHz, 13 チャンネル</li> <li>5.180 ~ 5.320 GHz, 8 チャンネル</li> <li>5.500 ~ 5.700 GHz, 11 チャンネル</li> <li>5.745 ~ 5.825 GHz, 5 チャンネル</li> </ul> <p><b>T(T 規制ドメイン):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.412 ~ 2.462 GHz, 11 チャンネル</li> <li>5.280 ~ 5.320 GHz, 3 チャンネル</li> <li>5.500 ~ 5.700 GHz, 8 チャンネル (5.600 ~ 5.640 GHz を除く)</li> <li>5.745 ~ 5.825 GHz, 5 チャンネル</li> </ul> <p><b>Z(Z 規制ドメイン):</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.412 ~ 2.462 GHz, 11 チャンネル</li> <li>5.180 ~ 5.320 GHz, 8 チャンネル</li> <li>5.500 ~ 5.700 GHz, 8 チャンネル (5.600 ~ 5.640 GHz を除く)</li> <li>5.745 ~ 5.825 GHz, 5 チャンネル</li> </ul>		
注: 数値は規制ドメインによって異なります。各規制ドメイン別の詳細については、製品マニュアルを参照してください。			
受信感度(合成感度)	<p><b>802.11b</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-99 dBm(1 Mbps)</li> <li>-96 dBm(2 Mbps)</li> <li>-93 dBm(5.5 Mbps)</li> <li>-86 dBm(11 Mbps)</li> </ul>	<p><b>802.11g</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-94 dBm(6 Mbps)</li> <li>-93 dBm(9 Mbps)</li> <li>-92 dBm(12 Mbps)</li> <li>-90 dBm(18 Mbps)</li> <li>-86 dBm(24 Mbps)</li> <li>-83 dBm(36 Mbps)</li> <li>-78 dBm(48 Mbps)</li> <li>-77 dBm(54 Mbps)</li> </ul>	<p><b>802.11a</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-94 dBm(6 Mbps)</li> <li>-93 dBm(9 Mbps)</li> <li>-91 dBm(12 Mbps)</li> <li>-89 dBm(18 Mbps)</li> <li>-86 dBm(24 Mbps)</li> <li>-83 dBm(36 Mbps)</li> <li>-78 dBm(48 Mbps)</li> <li>-76 dBm(54 Mbps)</li> </ul>

項目	仕様						
	<b>2.4 GHz</b>		<b>5 GHz</b>			<b>5 GHz</b>	
	<b>802.11n(HT20)</b>		<b>802.11n(HT20)</b>			<b>802.11n(HT40)</b>	
	-93 dBm(MCS0)		-93 dBm(MCS0)			-90 dBm(MCS0)	
	-90 dBm(MCS1)		-90 dBm(MCS1)			-87 dBm(MCS1)	
	-88 dBm(MCS2)		-88 dBm(MCS2)			-85 dBm(MCS2)	
	-84 dBm(MCS3)		-84 dBm(MCS3)			-81 dBm(MCS3)	
	-81 dBm(MCS4)		-81 dBm(MCS4)			-78 dBm(MCS4)	
	-76 dBm(MCS5)		-76 dBm(MCS5)			-74 dBm(MCS5)	
	-75 dBm(MCS6)		-75 dBm(MCS6)			-72 dBm(MCS6)	
	-74 dBm(MCS7)		-73 dBm(MCS7)			-71 dBm(MCS7)	
	-92 dBm(MCS8)		-92 dBm(MCS8)			-90 dBm(MCS8)	
	-89 dBm(MCS9)		-89 dBm(MCS9)			-86 dBm(MCS9)	
	-87 dBm(MCS10)		-86 dBm(MCS10)			-84 dBm(MCS10)	
	-83 dBm(MCS11)		-83 dBm(MCS11)			-81 dBm(MCS11)	
	-79 dBm(MCS12)		-80 dBm(MCS12)			-78 dBm(MCS12)	
	-76 dBm(MCS13)		-75 dBm(MCS13)			-73 dBm(MCS13)	
	-74 dBm(MCS14)		-74 dBm(MCS14)			-72 dBm(MCS14)	
	-73 dBm(MCS15)		-73 dBm(MCS15)			-70 dBm(MCS15)	
	<b>802.11ac(非 HT80)</b>						
	-88 dBm(6 Mbps)						
	-70 dBm(54 Mbps)						
	<b>MCS インデックス</b>	<b>空間ストリーム</b>					
			<b>VHT20</b>	<b>VHT40</b>	<b>VHT80</b>	<b>VHT20-STBC</b>	<b>VHT40-STBC</b>
	0	1	-93 dBm	-90 dBm	-87 dBm	-95 dBm	-93 dBm
	8	1	-69 dBm			-72 dBm	-68 dBm
	9	1		-64 dBm	-61 dBm		
	0	2	-92 dBm	-89 dBm	-86 dBm		
	8	2	-68 dBm				
	9	2		-63 dBm	-60 dBm		
<b>最大送信出力</b>	<b>2.4 GHz</b>			<b>5 GHz</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 802.11b <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ アンテナ 1 本で 17 dBm</li> </ul> </li> <li>• 802.11g <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ アンテナ 2 本で 20 dBm</li> </ul> </li> <li>• 802.11n(HT20) <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ アンテナ 2 本で 20 dBm</li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>• 802.11a <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ アンテナ 1 本で 17 dBm</li> </ul> </li> <li>• 802.11n 非 HT 二重モード <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ アンテナ 2 本で 20 dBm</li> </ul> </li> <li>• 802.11n(HT20) <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ アンテナ 2 本で 20 dBm</li> </ul> </li> <li>• 802.11n(HT40) <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ アンテナ 2 本で 20 dBm</li> </ul> </li> <li>• 802.11ac <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 非 HT80: 20 dBm(アンテナ 2 本)</li> <li>◦ VHT20: 20 dBm(アンテナ 2 本)</li> <li>◦ VHT40: 20 dBm(アンテナ 2 本)</li> <li>◦ VHT80: 20 dBm(アンテナ 2 本)</li> <li>◦ VHT20-STBC: 20 dBm(アンテナ 2 本)</li> <li>◦ VHT40-STBC: 20 dBm(アンテナ 2 本)</li> <li>◦ VHT80-STBC: 20 dBm(アンテナ 2 本)</li> </ul> </li> </ul>			
	<b>注: 最大出力設定は、チャンネルおよび各国の規制によって異なります。個別の詳細については、製品マニュアルを参照してください。</b>						

項目	仕様																		
利用可能な送信出力設定	<table border="1"> <thead> <tr> <th>2.4 GHz</th> <th>5 GHz</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20 dBm(100 mW)</td> <td>20 dBm(100 mW)</td> </tr> <tr> <td>17 dBm(50 mW)</td> <td>17 dBm(50 mW)</td> </tr> <tr> <td>14 dBm(25 mW)</td> <td>14 dBm(25 mW)</td> </tr> <tr> <td>11 dBm(12.5 mW)</td> <td>11 dBm(12.5 mW)</td> </tr> <tr> <td>8 dBm(6.25 mW)</td> <td>8 dBm(6.25 mW)</td> </tr> <tr> <td>5 dBm(3.13 mW)</td> <td>5 dBm(3.13 mW)</td> </tr> <tr> <td>2 dBm(1.56 mW)</td> <td>2 dBm(1.56 mW)</td> </tr> <tr> <td>-1 dBm(0.78mW)</td> <td>-1 dBm(0.78mW)</td> </tr> </tbody> </table>	2.4 GHz	5 GHz	20 dBm(100 mW)	20 dBm(100 mW)	17 dBm(50 mW)	17 dBm(50 mW)	14 dBm(25 mW)	14 dBm(25 mW)	11 dBm(12.5 mW)	11 dBm(12.5 mW)	8 dBm(6.25 mW)	8 dBm(6.25 mW)	5 dBm(3.13 mW)	5 dBm(3.13 mW)	2 dBm(1.56 mW)	2 dBm(1.56 mW)	-1 dBm(0.78mW)	-1 dBm(0.78mW)
2.4 GHz	5 GHz																		
20 dBm(100 mW)	20 dBm(100 mW)																		
17 dBm(50 mW)	17 dBm(50 mW)																		
14 dBm(25 mW)	14 dBm(25 mW)																		
11 dBm(12.5 mW)	11 dBm(12.5 mW)																		
8 dBm(6.25 mW)	8 dBm(6.25 mW)																		
5 dBm(3.13 mW)	5 dBm(3.13 mW)																		
2 dBm(1.56 mW)	2 dBm(1.56 mW)																		
-1 dBm(0.78mW)	-1 dBm(0.78mW)																		
注: 最大出力設定は、チャンネルおよび各国の規制によって異なります。個別の詳細については、製品マニュアルを参照してください。																			
内蔵アンテナ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2.4 GHz、ゲイン 2 dBi</li> <li>• 5 GHz、ゲイン 4 dBi</li> </ul>																		
インターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 10/100/1000BASE-T PoE アップリンク ポート X 1</li> <li>• 管理コンソール ポート (RJ-45)</li> <li>• 10/100/1000BASE-T ポート (ローカル イーサネット ポート) X 3、PoE 出力ポート X 1 を含む: <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ PoE 出力は、アクセス ポイントが Cisco ローカル電源装置 (AIR-PWR-C=、AIR-PWR-D=) から電力供給を受けている場合は 802.3af を提供し、802.3at から電力供給を受けている場合は ~ 6.5 W になり、802.3af から電力供給を受けている場合は出力なしになる</li> </ul> </li> <li>• パッシブ パススルー ポート RJ-45 X 1 (背面下部)</li> <li>• DC 電源コネクタ</li> </ul>																		
インジケータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ステータス LED はブートローダ ステータス、アソシエーション ステータス、動作ステータス、ブートローダ警告、ブートローダエラーを表示</li> <li>• 各ローカル イーサネット ポートのステータス</li> <li>• アクセス ポイントがコントローラに接続すると、プライバシー目的で LED が自動的にオフになる。管理のために LED を有効にすることもできます。構成ガイドを参照してください。</li> </ul>																		
寸法 (幅 X 奥行 X 高さ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アクセス ポイント (取り付けブラケットを除く): 165 X 114 X 41 mm (6.5 X 4.5 X 1.6 インチ)</li> </ul>																		
重量	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 取り付けブラケットやその他のアクセサリを取り外した状態のアクセス ポイント: 560 g (1.2 ポンド)</li> </ul>																		
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 非動作 (保管) 温度: -30 ~ 70 °C (-22 ~ 158 °F)</li> <li>• 非動作 (保管) 最大高度: 25 °C、4,500 m (15,000 フィート)</li> <li>• 動作温度: 0 ~ 40 °C (32 ~ 104 °F)</li> <li>• 動作湿度: 10 ~ 90 % (結露しないこと)</li> <li>• 動作時の最大高度: 40 °C、3,000 m (9,843 フィート)</li> </ul>																		
システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 512 MB DRAM</li> <li>• 256 MB フラッシュ メモリ</li> <li>• 1.4 GHz システム デュアルコア CPU</li> </ul>																		
入力電力要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 44 ~ 57 V DC</li> <li>• オプションの電源およびパワー インジェクタ: 100 ~ 240 V AC、49 ~ 60 Hz</li> </ul>																		
電源オプション	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 802.3af/at イーサネット スイッチ</li> <li>• オプションの Cisco パワー インジェクタ (AIR-PWRINJ5=、AIR-PWRINJ6=)</li> <li>• オプションの Cisco ローカル電源装置 (AIR-PWR-C= または AIR-PWR-D=)</li> </ul>																		
消費電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 最大値: PoE 出力なしで 12.95 W (100 m のケーブル使用時は 15.4 W)、PoE 出力が 6.49 W で 20.7W (100 m のケーブル使用時は 22 W)、PoE 出力が 12.95 W で 27.65 W (AIR-PWR-C= または AIR-PWR-D= を使用して電力を供給した場合)</li> </ul> <p>注: PoE を使用する導入環境でアップリンク ポートまたは PoE 出力ポートで 100 m のケーブルを使用した場合は上記の電力値から損失分が差し引かれます。</p>																		
物理的セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アクセス ポイントに盗難防止用トルクス ネジが付属</li> <li>• Kensington セキュリティ スロット</li> </ul>																		
取り付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アクセス ポイントに付属: 取り付けブラケット AIR-AP-BRACKET-W2、シングル ギャング接続ボックスや複数の国際規格に対応</li> <li>• オプション: <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ AIR-AP1810W-KIT=、標準の接続ボックスが使用できない壁面にアクセス ポイントを直接取り付けするためのスペーサーキット</li> <li>◦ AIR-OEAP1810-CRD=、デスクにアクセス ポイントを設置するためのクレードル キット</li> </ul> </li> </ul>																		

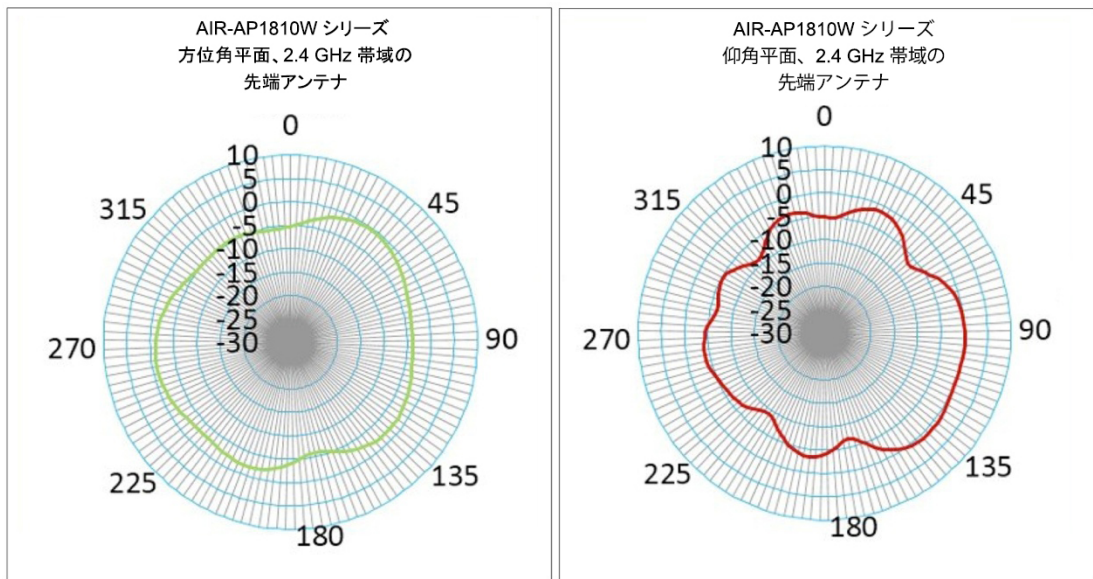
項目	仕様
アクセサリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 取り付けブラケット: AIR-AP-BRACKET-W2=(スベアとして利用可能)</li> <li>• スペーサ キット: AIR-AP1810W-KIT=(別売)、スペーサおよび RJ-45 ジャンパー ケーブルが付属</li> <li>• クレードル キット: AIR-OEAP1810-CRD=(別売)、バック カバーおよび RJ-45 ジャンパー ケーブルが付属</li> <li>• 物理的セキュリティキット: AIR-SEC-50=(別売)、アクセス ポイントを壁面取り付けブラケットに固定するために使用する盗難防止用ネジ 50 個、RJ-45 のキャップ 50 個、イーサネット ポートへの物理的アクセスを遮断するために使用するロック解除キー 2 個が付属</li> <li>• Cisco ローカル電源装置: AIR-PWR-D=(別売り)</li> </ul>
保証	限定ライフタイム ハードウェア保証
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 安全性: <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ UL 60950-1</li> <li>◦ CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1</li> <li>◦ UL 2043</li> <li>◦ IEC 60950-1</li> <li>◦ EN 60950-1</li> </ul> </li> <li>• 無線の認可: <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ FCC Part 15.247、15.407</li> <li>◦ RSS-247(カナダ)</li> <li>◦ EN 300.328、EN 301.893(欧州)</li> <li>◦ ARIB-STD 66(日本)</li> <li>◦ ARIB-STD T71(日本)</li> <li>◦ EMI および感受性(クラス B)</li> <li>◦ FCC Part 15.107 および 15.109</li> <li>◦ ICES-003(カナダ)</li> <li>◦ VCCI(日本)</li> <li>◦ EN 301.489-1 および -17(欧州)</li> </ul> </li> <li>• IEEE 標準: <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ IEEE 802.11a/b/g、802.11n、802.11h、802.11d</li> <li>◦ IEEE 802.11ac ドラフト 5</li> </ul> </li> <li>• セキュリティ: <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 802.11i、WPA2、WPA</li> <li>◦ 802.1X</li> <li>◦ AES</li> </ul> </li> <li>• 拡張認証プロトコル(EAP)の種類: <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ EAP-Transport Layer Security(TLS)</li> <li>◦ EAP-Tunneled TLS(TTLS)または Microsoft Challenge Handshake Authentication Protocol Version 2(MSCHAPv2)</li> <li>◦ Protected EAP(PEAP)v0 または EAP-MSCHAPv2</li> <li>◦ EAP-Flexible Authentication via Secure Tunneling(FAST)</li> <li>◦ PEAP v1 または EAP-GTC(汎用トークン カード)</li> <li>◦ EAP-Subscriber Identity Module(SIM)</li> </ul> </li> <li>• マルチメディア <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ Wi-Fi マルチメディア(WMM)</li> </ul> </li> <li>• その他: <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ FCC Bulletin OET-65C</li> <li>◦ RSS-102</li> </ul> </li> </ul>

<sup>1</sup> MCS インデックス: 変調および符号化方式 (MCS) インデックスは、空間ストリーム数、変調、符号化レート、およびデータ レート値を決定します。

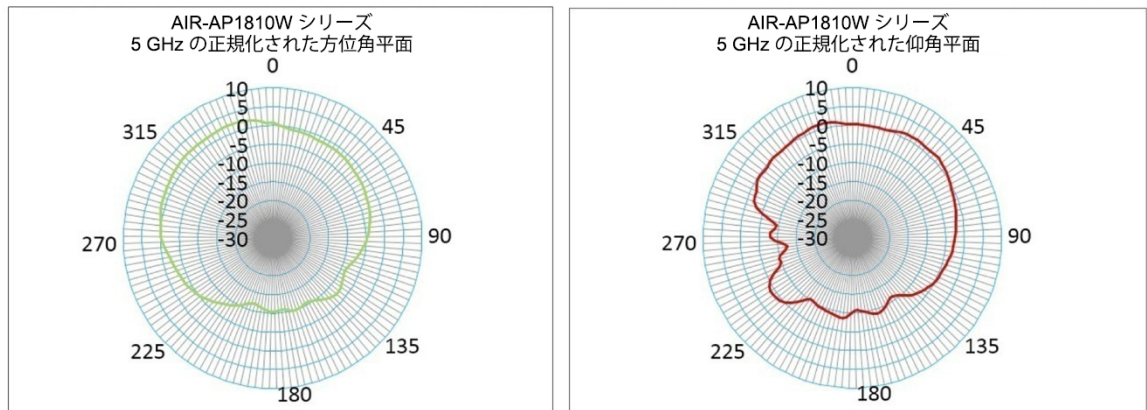
<sup>2</sup> シンボル間のガード インターバル(GI)により、レシーバーはマルチパス遅延スプレッドの影響を抑制することができます。

## アンテナ放射パターン

### 2つのアンテナの正規化された 2.4 GHz アンテナ放射パターン



### 2つのアンテナの正規化された 5 GHz アンテナ放射パターン





## 発注情報

表 3 に、Cisco Aironet 1800W シリーズ アクセス ポイントの発注情報を示します。シスコ製品の購入方法については、[購入案内のページ](#)を参照してください。ソフトウェアをダウンロードするには、[シスコソフトウェアダウンロード](#)にアクセスしてください。

表 3. 発注情報

製品名	製品番号
Cisco Aironet 1810W シリーズ	<ul style="list-style-type: none"><li>AIR-AP1810W-x-K9: デュアルバンド中央管理型 802.11a/g/n/ac, Wave 2</li></ul> お客様の国における使用認可をご確認ください。特定の国に対応する認定、または特定の国で仕様される規制ドメインを確認するには、次を参照してください。 <a href="http://www.cisco.com/go/aironet/compliance">http://www.cisco.com/go/aironet/compliance</a> すべての規制ドメインで使用が認可されているわけではありません。使用が認可され次第、グローバル価格表に製品番号が記載されます。

## Cisco Wireless LAN サービス

シスコおよびパートナー各社は、テクノロジーへの投資をより早く最大限にご活用いただけるように、カスタマイズされたインテリジェントなサービスを提供しています。ネットワークに対する深い専門知識と広範にわたるパートナー エコシステムに支えられた Cisco ワイヤレス LAN サービスを利用することで、リッチ メディア コラボレーションに対応できる堅牢かつ拡張性の高いモビリティ ネットワークを導入できます。また、Cisco Unified Wireless Network を基盤とした有線および無線のネットワーク インフラストラクチャの統合により、運用効率を高めることも可能です。シスコはパートナー企業と連携し、専門知識に基づくサービスの計画、構築、運用を通じて、お客様が高度なモビリティ サービスに迅速に移行し、導入後もアーキテクチャの最適なパフォーマンス、信頼性、セキュリティを維持できるように支援します。詳細については、<http://www.cisco.com/web/JP/product/hs/wireless/services.html> を参照してください。

### Cisco Wireless LAN サービス

- AS-WLAN-CNSLT: [Cisco Wireless LAN Network Planning and Design Service](#)
- AS-WLAN-CNSLT: [Cisco Wireless LAN 802.11n Migration Service](#)
- AS-WLAN-CNSLT: [Cisco Wireless LAN Performance and Security Assessment Service](#)

## 保証に関する情報

Cisco Aironet 1810W シリーズ アクセス ポイントには、制限付きライフタイム保証が付属します。この保証は、製品を最初に購入したエンド ユーザーが所有または使用し続ける限り、ハードウェアに対する包括的な保証を提供するというものです。この保証には、10 日間の代替品先行手配が含まれます。また、ソフトウェア メディアについては、90 日間、障害が発生しないことを保証します。詳細については、<http://www.cisco.com/go/warranty/> [英語] を参照してください。

保証については、Cisco.com の [製品保証](#) [英語] のページを参照してください。

## Cisco Capital

### 目標の達成に役立つファイナンス

Cisco Capital<sup>®</sup>では、目標を達成し、競争力を維持するために必要なテクノロジーの取得を支援します。CapEx の削減をサポートし、成功を加速させ、投資金額と ROI を最適化します。Cisco Capital ファイナンス プログラムは、お客様がハードウェア、ソフトウェア、サービス、および補完的なサードパーティ製機器を柔軟に取得できるようにします。また、それらの購入を 1 つにまとめた計画的なお支払い方法をご用意しています。Cisco Capital は 100 カ国以上でサービスを利用できます。[詳細はこちら](#)。

## 関連情報

Cisco Aironet 1810W シリーズ アクセス ポイントの詳細については、

<http://www.cisco.com/c/en/us/products/wireless/aironet-1810w-series-access-points/index.html> [英語] をご覧ください。

©2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2016年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー  
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先